

【久留米大学病院薬剤部からの連絡事項】

院内処方の決まり事など保険薬局の方々には関係のないものも含まれております。

また、今回のファイルは2016年4月に発行した久留米大学病院医薬品ポケットガイド（院内用）に掲載している調剤内規のため、多少変更になっている場合がありますので、ご了承ください。

散剤の賦形に関しては、一部改変しております。ご確認ください。

医薬品の取扱い

I 処方箋及び調剤に関すること

1. 処方箋の種類

- ◆ 入院処方箋：定期，臨時，緊急，退院，
麻薬（臨時，緊急，退院）
- ◆ 外来処方箋：院外，院外麻薬，院内，院内麻薬
- ◆ 上記以外：〈入院〉処置・検査，定数
〈外来〉在宅医療，持ち帰り薬，処置・検査

2. 記載事項

医師法施行規則第21条，歯科医師法施行規則第20条，麻薬及び向精神薬取締法第27条第6項および本院規程による。

記載事項	院内処方 (入院・外来)	院外処方	院内麻薬処方 (入院・外来)	院外麻薬処方
患者番号 (ID) ・氏名 ・年齢，診療科 (病棟名) 薬品名，分量，用法 ・用量 (投与日数) 処方箋発行 (交付) 年月日 医師の記名 ・押印または署名 (院内処方 は医師の氏名の記載のみで可) 病院の名称および所在地	○	○	○	○
処方箋の使用期間，保険者番号 被保険者証 ・被保険者手帳の記号 ・番号 公費負担者番号および公費負担医療の受給者番号	—	○	—	○
麻薬施用者の免許証番号	—	—	○	○
患者の住所	—	—	—	○

3. 処方オーダーの運用について

<処方オーダー別入力時間と運用>

入院処方

① 定期処方

締切時間(病棟ごとの協定曜日の 12:00)までに入力する。

② 臨時処方

◆ オーダー締切時間と供給時間

服用開始	朝	昼	夕	寝る前
オーダー締切時間	0 : 00	10 : 00	14 : 00	21 : 00
搬送時間	前日 17 : 00 ※1	10 : 30 ※2	14 : 30	17 : 00 ※1

※1 土・日・休日は 16 : 30 搬送

※2 当日昼の服用開始で 8 : 00 までの発行分は 8 : 30 搬送

③ 退院処方

退院前日の 16:30 締め切り。

④ 緊急処方

緊急時のみ (気送管搬送の場合は**薬剤部へ電話連絡**する)。

外来処方

① 平日 8:00~21:00...院外処方 (18:00~21:00 は院内処方も可)

21:00~翌 8:30...院内処方

② 土曜日 8:30~18:00...院外処方

18:00~翌 8:30...院内処方

③ 日・祝日...終日院内処方

処方区分	オーダーできる薬剤等	
持ち帰り薬	次回検査の前処置薬剤	大腸・内視鏡・PET検査, 化学療法など
	試薬・薬価未収載品	
在宅医療	院内特殊製剤	診療科限定の院内特殊製剤
	在宅医療で使用する薬剤・医療材料	自己注・在宅栄養・在宅自己導尿・CAPD・在宅酸素療法などで使用する在宅療養指導管理料に含まれる消毒液・栄養剤など
		CAPD用器材
	在宅自己注用器材	注入器, 注射器, 注射針, 注射セット, 血糖自己測定用試験紙, 採血用穿刺針

4. 処方オーダー入力方法

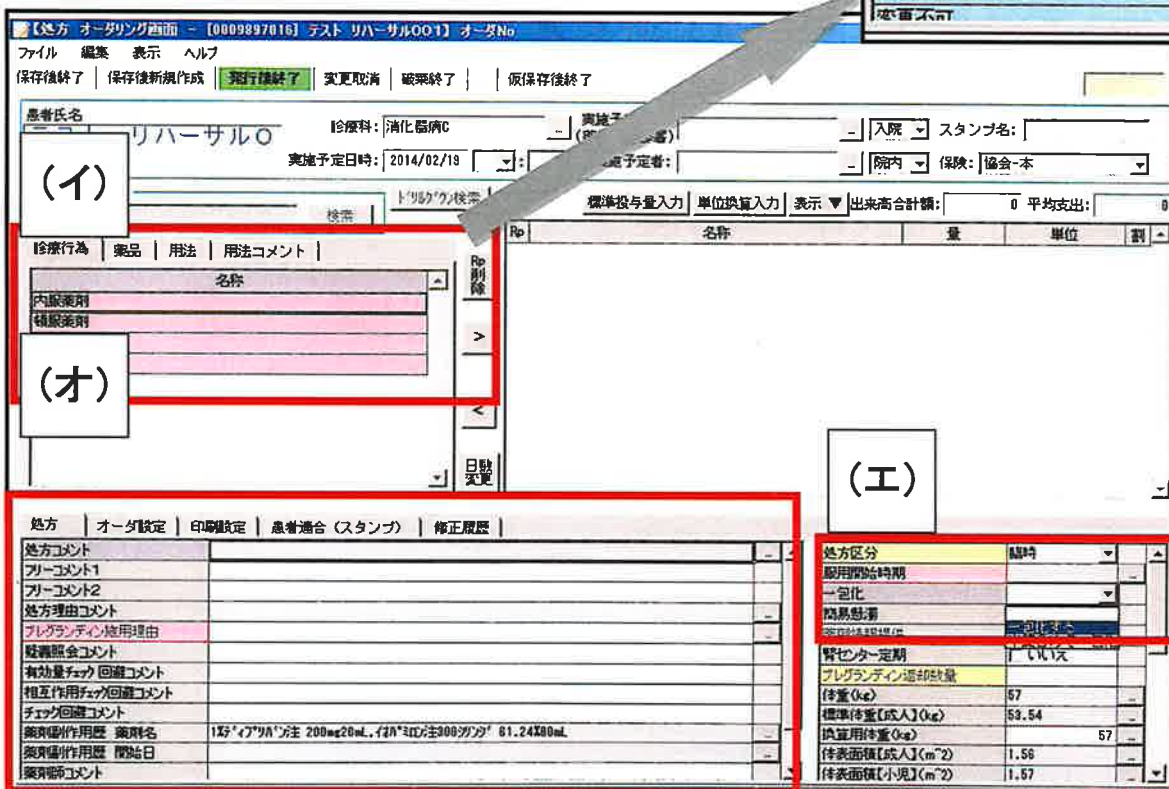
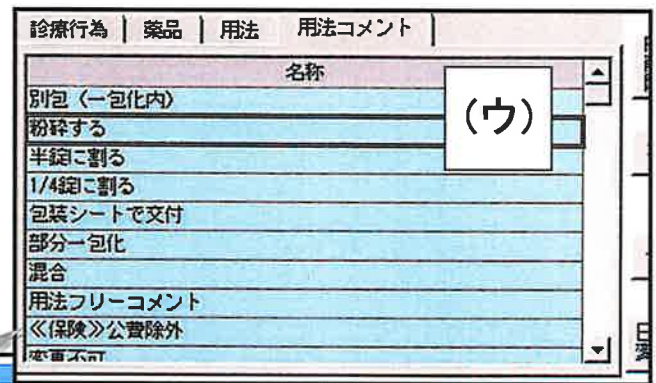
(1)内服・外用・自己注射等

① オーダ種別選択で「処方」「検査」「処置」などを
選択する。 ……(ア)



② 診療行為→薬品→用法→用法コメントの順に入力する。 ……(イ)
※ 頓服は診療行為の「頓服薬剤」を選択する。

「用法コメント」は必要時、錠剤を粉砕する、半錠に割る、軟膏を混合する、フリーコメント等を選択・入力する ……(ウ)



一包化，簡易懸濁などの指示を選ぶ．……(エ)

有効量チェック回避コメント
相互作用チェック回避コメント
チェック回避コメント

を入力する．……(オ)

(2)主な特殊調剤指示の入力方法

<不均等投与>

用法選択時，ドリルダウン検索し
「不均等投与」にチェックを入れる．

ドリルダウン検索画面

キーワード 検索

用法 (内服薬剤)

ドリルダウン | 頻用用法 |

用法分類名

1日1回用法
1日2回用法
1日3回用法
1日4回用法
1日5回用法
1日6回用法
1日7回用法
1日8回用法

不均等投与指示画面 【620000167】 アシックス錠20mg

1回目 2回目 3回目 4回目
2.000 + 1.000 + 0.000 + 0.000 +

5回目 6回目 7回目 8回目
0.000 + 0.000 + 0.000 + 0.000 = 3.000 [錠]

7 8 9
4 5 6
1 2 3
BS -

小数点以下分割数
 0.500刻み 0.333刻み
 0.250刻み 0.125刻み

OK
キャンセル

不均等投与

それぞれに服用数を入力する．
※朝・夕でも1回目と2回目に入力する．

<一包化>

キーワード検索	セルー	トピク検索	標準投与量入力	単位換算入力	表示 ▼	出来高合計額:	69	平均支出:	0
診療行為	薬品	用法	用法コメント	名称	Rp	名称	量	単位	割
2×昼・夕の食事中又は食後直ちに				1 内服薬剤	1	ワーファリン錠1mg	2	錠	○
3×朝・昼・夕の食後				1 ワーファリン錠0.5mg	1	ワーファリン錠0.5mg	1	錠	○
3×朝・昼の食後、寝る前				1 1×夕食後	1	1×夕食後	1	日分	
3×朝・夕の食後、寝る前				1 包装シートで交付		包装シートで交付			
3×朝・昼・夕の食前				2 内服薬剤	2	ロキソ®ロフェナトリウム錠60mg「日医工」●			○
3×朝・昼・夕の食直前				2 セループ®カプセル50mg●	2	セループ®カプセル50mg●			○
3×朝・昼・夕の食後直ちに									
3×朝・昼・夕の食後2時間									
9×24時間錠									

処方 | オーダ設定 | 印刷設定 | 患者適合 (スタンプ) | 修正履歴

処方コメント	処方区分	服開始時期	服時
処方コメント1	一包化	希望しない	
処方コメント2	薬剤情報提供	無し	
処方理由コメント	腎センター定期	いいえ	

全体を一包化する場合は「一包化」で以下のいずれかを選択する．．．．．(カ)

- ・ 通常の一包化をする場合は「一包化する」
- ・ 半錠を一包化に含める場合は「半錠を含めて一包化」。

診療行為	薬品	用法	用法コメント
別包 (一包化内)			名称
包装シートで交付			
別包 (一包化内)			
半錠に對する			
1/4錠に對する			
包装シートで交付			
別包 (一包化)			
混合			
用法フリーコメント			
<<保険>>公費除外			
不審不可			

一包化を選択した処方の中で別にする場合は用法コメントで以下のいずれかを選択する．．．．．(キ)

- ・ 別に分包する場合は「別包 (一包化内)」
- ・ 分包しない場合は「包装シートで交付」。

<錠剤の粉砕>

・Rp を全て粉砕する場合, 用法の下に「粉砕する」を入力する.

◆ワーファリン 1mg と 0.5mg の両方を粉砕する.

標準投与量入力		単位換算入力		表示 ▼		出来高合計額: 30		平均支出: 0	
Rp	名称	量	単位	割	▲				
1	内服薬剤								
1	ワーファリン錠1mg	2	錠	▼	○				
1	ワーファリン錠0.5mg	1	錠	▼	○				
1	1×夕食後	1	日分						
1	粉砕する								

・Rp 内の一部を粉砕する場合, 薬品の下に「粉砕する」を入力する.

◆ワーファリンの 1mg のみ粉砕する.

標準投与量入力		単位換算入力		表示 ▼		出来高合計額: 30		平均支出: 0	
Rp	名称	量	単位	割	▲				
1	内服薬剤								
1	ワーファリン錠1mg	2	錠	▼	○				
1	粉砕する								
1	ワーファリン錠0.5mg	1	錠	▼	○				
1	1×夕食後	1	日分						

◆ワーファリンの 0.5mg のみ粉砕する.

標準投与量入力		単位換算入力		表示 ▼		出来高合計額: 30		平均支出: 0	
Rp	名称	量	単位	割	▲				
1	内服薬剤								
1	ワーファリン錠1mg	2	錠	▼	○				
1	ワーファリン錠0.5mg	1	錠	▼	○				
1	粉砕する								
1	1×夕食後	1	日分						

5. 「手書き処方箋」記載上の注意

手書き処方箋はシステム停止時に用いる。

「2. 記載事項」(1 頁参照)で示される事項の他、以下の事項も記載する。

① 処方番号

Rp.番号を記載する。

② 薬品規格・含量の指定

規格・含量は薬品名のあとに「(1.25mg) 1錠」などと記載する。

③ 薬品剤形の指定

同一薬品で、剤形の異なる製剤がある場合は、剤形を記載する。

④ 不均等投与

不均等投与の場合は、配分を(1-2)などと指示する。

⑤ 隔日投与

実際の服用日数と投与期間を併記する。

⑥ 錠剤・カプセル剤・顆粒剤の粉砕

該当薬剤の下に『粉砕』と記載する。

⑦ 錠剤の分割交付

該当薬剤の下に『半錠に割る』と記載する。

⑧ 用量の単位 倍散の製剤は原薬(有効成分)の量を mg で記載する。

例] アレビアチン散 10% 150mg

抗生剤は力価を mg で記載する。

例] セフカペンピボキシル細粒 100mg/g 150mg

6. 小児薬用量

[参考] 小児薬用量 = 成人量 × (年齢 × 4 + 20) / 100 (Augsberger)

年齢	低体重 出生児	新生児	3ヶ月	6ヶ月	1歳	3歳	7 1/2歳	12歳	(成人)
小児薬用量 (成人量に 対する比)	1/10	1/8	1/6	1/5	1/4	1/3	1/2	2/3	(1)

(Von Harnack の換算表より引用)

7. 調剤の申し合わせ

<散剤の調剤> 一部改変

①賦形剤の添加

1回の薬品分量が少量の場合、原則として乳糖を添加する。

	1回量	賦形剤の量
散剤, 細粒剤	0.2g未満	0.2g
顆粒剤, ドライシロップ剤	0.05g未満	0.2g
散剤と顆粒剤の混合	散剤の量が0.2g未満	0.2g

例外 1) ジギタリス製剤(ジゴシン, ラニラピッド)の粉碎時
1日 1g (2歳未満は 0.5g) 加える。

1日 1回の場合は 0.5g (2歳未満は 0.3g) 加える。

例外 2) 下記の薬品は、賦形剤としてデンプンを添加する。

イスコチン, ミルラクト, ロペラミド, チラーヂンSを含む処方

例外 3) イーケプラ Dsy, カルボシステイン Dsy, プログラフ顆粒は、細粒とみなす

例外 4) アデロキザール散の単剤処方時は
賦形剤を 1回 0.2 g 加える。

②配合変化をおこす散剤

配合により服用期間中に変色, 湿潤または効果を減ずるおそれや, 調剤上不都合がある場合, 別包にして調剤する。

配合変化をおこす薬剤 (右記薬剤とは別包)	左記の薬剤と別包にする薬剤
アイピーディ	アスベリン, ビソルボン
ハイシー	マグラックス細粒
パンビタン	炭酸水素ナトリウム, SM散
アスピリン	炭酸水素ナトリウム, SM散
カルグート	ビタメジン, ヨウレチン
テルネリン	デパケン細粒

③単味投与（他剤との混合不可）の散剤

血糖降下剤，強心配糖体，ドパ製剤，ミルラクト，ワーファリン，漢方製剤，抗生物質，化学療法剤，炭酸水素ナトリウム

＜錠剤，カプセル剤，丸剤（以下錠剤と記す）＞

①一包化除外薬（原則として一包化より除外される薬剤）

血糖降下剤，強心配糖体，抗ウイルス剤，抗悪性腫瘍剤
ペニシリン系抗生物質（裸錠），吸湿性薬剤，冷所保存薬剤
裸錠で変色する薬剤，吸着剤，舌下錠，5-HT₃拮抗剤，
特別な管理を必要とする薬剤，服用時が限定される薬剤

②半錠，投与日数が異なるものは別包となる。

＜水薬の調剤＞

①原液投与

水薬は原液投与とし，1回の服用量が整数（mL）にならない場合は，原則として単シロップを加えて調整する。

②原液単味投与

1回量が整数(mL)に割り切れない場合は不均等投与とする。

アルファロール，アルクレイン，ネオーラル，シアナマイド，ファンギゾン，ピアーレ，エルカルチンFF

例外1) リモナーデ類は1日量100mLとなるように水で希釈する。
調製日数は4日分まで。

例外2) 内服用ルゴールは1回量30mLとなるよう水で希釈する。
調製日数は2日分まで。

③配合変化をおこす水剤

配合により沈殿を生じたり，効力を減ずるおそれのある場合は，単独で調剤する。

配合変化をおこす薬剤 (右記薬剤とは別に単独で調剤)	左記の薬剤と別にする薬剤
デパケンシロップ	他の水剤すべて
カルボシステインシロップ	他の水剤すべて
アンブロキシソールシロップ	セキコデシロップ

8. 用法指示について

※以下の薬品は添付文書に記載された用法を推奨.

アクトネル, フォサマック, ボナロン, リカルボン	起床時
イトリゾール内用液, エクジェイド, ザイティガ, ジオトリフ, ディレグラ, バラクルード	空腹時
リファジン	朝食前
HMG-CoA 還元酵素阻害剤, プログラフ (重症筋無力症, 関節リウマチ, ループス腎炎の場合), レグナイト	夕食後
(1日1回の場合) 催眠鎮静剤, 筋弛緩剤, 気管支拡張剤, 抗ヒスタミン剤, 精神神経用剤(オーラップ・精神賦活剤を除く), 下剤, H ₂ 受容体拮抗剤, サレド, シングレア, ミニリンメルト OD 尿路疾患に用いる抗生物質及び化学療法剤	寝る前
(1日2回の場合) 精神賦活剤, 降圧利尿剤, 副腎皮質ホルモン剤	朝・昼の食後
クレメジン, プイフェンド, メタルカプターゼ, 薬用炭	食後2時間
漢方薬	食前, 又は食後2時間
アルクレイン, インタール内服用, エパルレスタット, アコファイド, 速効型インスリン, ナウゼリン, プリンペラン, メタライト, リファジン, リルテック, リモナーデ類	食前
グルコバイ OD, グルベス, キックリン, シュアポスト クラバモックスドライシロップ, スターシス, セイブル, 超速効型インスリン, ボグリボース OD, フォスブロック	食直前
イトリゾール Cap, エパデール, スパカール, パーロデル, リオナ, ペリシット, ホスレノール, リパクレオン, ロトリガ	食直後
癌性疼痛へのオピオイド性鎮痛薬(レスキュー投与を除く)	時間毎
ジャカビ, セルセプト, ミノマイシン	12時間毎
ユーゼル	(8時間毎) 食事の前後1時間を避ける
タイケルブ	(1日1回) 食事の1時間以上前又は食後1時間以降
タシグナ	(12時間毎) 食事の1時間以上前又は食後2時間以降
タルセバ, ヴォトリエント, ノベルジン	食事の1時間以上前又は食後2時間以降
レボレード	食事の前後2時間を避けて空腹時
乳児 (6ヶ月未満)	原則として授乳前
スタリビルド, プリジスタ, レイアタツ	食事中又は食直後
レミッチ	夕食後又は就寝前
アプルウェイ, カナグル, スーグラ	(1日1回) 朝食前又は朝食後
ダラシン, オーグメンチン	3~4回を6~8時間毎

9. 投薬期間に制限のある医薬品一覧

14 日限度

分類	商品名	一般名
新医薬品	薬価基準収載月の翌月の初日から起算して1年 (厚生労働大臣が指定するものは、その指定する期間)を 経過していないもの(該当しない薬剤あり)	
麻薬	アブストラル舌下錠	フェンタニルクエン酸塩
	オキファスト注	オキシコドン塩酸塩水和物
	タペンタ錠	タペンタドール
	メサペイン錠	メサドン塩酸塩
向精神薬	ダイアアップ坐薬	ジアゼパム
	ネンブタール坐薬(院内製剤)	ペントバルビタールナトリウム
	ノルspanテープ	ブプレノルフィン
	ラボナ錠	ペントバルビタールカルシウム
	レペタン坐薬	ブプレノルフィン塩酸塩
	ワコビタール坐薬	フェノバルビタールナトリウム

30 日限度

分類	商品名	一般名
麻薬	アンペック坐薬	モルヒネ塩酸塩水和物
	オキシコンチン錠	オキシコドン塩酸塩水和物
	オキノーム散	オキシコドン塩酸塩水和物
	オプソ内服液	モルヒネ塩酸塩水和物
	コデインリン酸塩錠	コデインリン酸塩
	デュロテップ MT パッチ	フェンタニル
	フェンタニル注	フェンタニルクエン酸塩
	フェントステープ	フェンタニルクエン酸塩
	モルヒネ塩酸塩錠・注	モルヒネ塩酸塩水和物

分類	商品名	一般名
向精神薬	エバミール錠	ロルメタゼパム
	コンサータ錠	メチルフェニデート塩酸塩
	セパゾン錠	クロキサゾラム
	ソラナックス錠	アルプラゾラム
	ドラーレ錠	クアゼパム
	バランス散	クロルジアゼポキシド
	ハルシオン錠	トリアゾラム
	ベゲタミン錠 A・B	クロルプロマジン・プロメタジン配合剤
	ベタナミン錠	ペモリン
	マイスリー錠	ゾルピデム酒石酸塩
	メイラックス錠	ロフラゼプ酸エチル
	モディオダール錠	モダフィニル
	ユーロジン錠	エスタゾラム
	リーゼ錠	クロチアゼパム
	リタリン錠	メチルフェニデート塩酸塩
	レキソタン錠	ブロマゼパム
	レペタン注	ブプレノルフィン塩酸塩
	ブロチゾラム OD 錠	ブロチゾラム
	ロヒプノール錠	フルニトラゼパム
	ワイパックス錠	ロラゼパム
CMCP（院内製剤）	クロルジアゼポキシド配合剤	

90 日限度

分類	商品名	一般名
向精神薬	セルシン錠・シロップ	ジアゼパム
	ネルボン錠	ニトラゼパム
	フェノバル散・錠	フェノバルビタール
	ベンザリン細粒	ニトラゼパム
	ホリゾン散	ジアゼパム
	マイスタン細粒・錠	クロバザム
	リボトリール細粒・錠	クロナゼパム